

令和5年度第3回弘前市まちづくり1%システム審査委員会 会議録概要（1日目）

日 時：令和5年9月15日（金）
午後6時～7時45分

場 所：市役所市民防災館3階 防災会議室

1 出席者

審査委員 土井委員長、大倉委員、安田委員、相馬委員、小山内委員、秋元委員、
伊藤委員、村田委員、神委員、佐藤委員、工藤委員、一條委員

事務局 高谷課長、齊藤課長補佐、菊池主幹兼協働推進係長、対馬市民生活係長、
葛西主査、石岡主査、工藤主事、片岡主事

2 審査方法

（1）一般部門

1事業ごとに申請書類及び公開プレゼンテーションの内容を踏まえ、審査を実施。審査委員は、審査項目をもとに1人100点満点（10項目×10点）で採点を行う。審査委員が申請書を提出した団体に所属する場合は、審査から外れるものとする。

【補助金の交付決定を受けた回数が0～2回】

採択 …次のすべてを満たすもの

- ①出席委員の合計の平均点が60点以上
- ②出席委員の各審査項目の平均点が3点以上

【補助金の交付決定を受けた回数が3回以上】

採択 …次のすべてを満たすもの

- ①出席委員の合計の平均点が60点以上
- ②出席委員の「公益性」、「将来性」、「費用の妥当性」の審査項目の平均点が6点以上
- ③出席委員の「必要性」、「実現性」の審査項目の平均点が3点以上

3 審査結果

- ・一般部門 7事業中4事業
 - 採択事業 3事業
 - 不採択事業 1事業
- ・スタート部門 2事業中0事業
 - 採択事業 0事業
 - 不採択事業 0事業

《審査内容》

一般部門

事業番号	3
事業名	「大石武学流庭園めぐり」
団体名	大石武学流庭園調査研究会

【主な意見】

- ・庭園の保存継承活動を行う会員を増やすことも重要であるため、パンフレットによる会員募集、SNS等を活用したPRなど、先を見据えた取り組みも実施してはどうか。
- ・同様の事業を実施する団体と、費用や運営面での連携を検討していただきたい。
- ・個人所有の庭園が多いことから、今後も適正な維持管理を継続させるため、仲間づくりをしながら、ヒアリング調査の実施や、庭園めぐりの定期的な開催による維持管理費用の捻出など、保存継承に向けた事業に発展していただけると、より素晴らしい活動になると思う。

【審査結果】

合計点 74.7点 \geq 60.0点，各審査項目の平均点 \geq 3点 \Rightarrow 採択（申請額どおり）

※審査委員 11名で審査採点

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	6.7
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	7.8
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	7.6
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	6.7
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	7.3
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	8.2
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性(継続事業については発展性)が期待できる	8.2
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	7.6
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	7.3
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	7.3
合計		74.7

《審査内容》

一般部門

事業番号	1
事業名	ゴミ集積所のミニ掲示板設置
団体名	上松原町会

【主な意見】

- ・ごみ集積所の課題は、全町会共通のものだと思う。面白いアイデアであり、参考にできる町会もあると思うので、実施されたら、事業の効果や新しい課題を情報共有していただきたい。
- ・異なるデザインの看板では効果が変わるのか、設置場所が住宅地と幹線道路とでは違いがあるかなど、効果測定も実施できれば、より素晴らしい活動になると思う。
- ・掲示板でイベントなどの告知もすることで、町会の雰囲気も変わっていくと思うので、これが弘前のモデル事業となって他の町会に広まっていけばいいと思う。頑張ってください。

【審査結果】

合計点 80.9点 \geq 60.0点 , 各審査項目の平均点 \geq 3点 \Rightarrow 採択 (申請額どおり)

※審査委員 11名で審査採点

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	8.0
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	8.5
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	8.4
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	8.0
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	7.8
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	8.5
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性(継続事業については発展性)が期待できる	7.6
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	8.0
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	7.8
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	8.2
合計		80.9

《審査内容》

一般部門

事業番号	4
事業名	カードゲームあっぷるぱい（牌）を広めりんご栽培の歴史を伝承する
団体名	あっぷるぱい（牌）を広める会

【主な意見】

- ・りんごをテーマに活動している市民活動団体が他にもあるので、他の団体と繋がってイベントに参加させてもらい、あっぷるぱい（牌）を周知していくのも効果的な方法であるし、また、相互に協力し合うことでイベントの相乗効果が期待できると思う。
- ・役なども面白くて、対象を小学生に限定してしまうのはもったいないと思う。今後、インストラクターの養成を考えているのであれば、ぜひ高校生や大学生にも遊んでもらい、そこでインストラクターになる方を発掘してはどうか。
- ・インストラクターには、街歩き関連の検定を受けている方やりんごをテーマに活動している団体にも、声がけしていただきたい。

【審査結果】

合計点 79.2点 \geq 60.0点 , 各審査項目の平均点 \geq 3点 \Rightarrow 採択（申請額どおり）

※審査委員 12名で審査採点

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	7.7
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	7.8
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	7.5
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	7.2
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	8.0
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	8.2
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性(継続事業については発展性)が期待できる	8.5
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	8.8
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	7.7
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	7.8
合 計		79.2

《審査内容》

一般部門

事業番号	5
事業名	～和徳の歴史の探求と伝統ある津軽の歴史の魅力発信事業～ 題「けの汁発祥の地 和徳城」和徳城主 小山内讃岐の守没後452年祭
団体名	和徳歴史探偵団

【主な意見】

- ・和徳地域も含めた弘前の歴史を市民に知ってもらいたいという思いがあるので、今後若い世代にも響くために何をすれば良いか考えていっていただきたい。
- ・学校への取り組みは良い活動だと思うので、学校にアピールできるような資料や切り口を変えたパネル作りなどで新しい展開の仕方を考えていっていただきたい。

【審査結果】

合計点 62.8点 ≥60.0点 , 【必要性】【実現性】の各項目の平均点≥3点 ,
【公益性】【将来性】【費用の妥当性】の各項目の平均点 < 6点の項目有 ⇒不採択
※審査委員 12名で審査採点

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	6.7
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	7.0
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	6.2
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	6.0
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	6.5
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	6.8
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性(継続事業については発展性)が期待できる	5.8
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	5.7
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	6.2
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	6.0
合 計		62.8

令和5年度第3回弘前市まちづくり1%システム審査委員会 会議録概要（2日目）

日 時：令和5年9月16日（土）

午前9時～10時45分

場 所：市役所市民防災館3階 防災会議室

1 出席者

審査委員 土井委員長、大倉委員、安田委員、相馬委員、小山内委員、秋元委員、
伊藤委員、村田委員、神委員、佐藤委員、工藤委員、一條委員、山木委員

事務局 高谷課長、齊藤課長補佐、奈良総括主幹、菊池主幹兼協働推進係長、
石岡主査、工藤主事、片岡主事、山内主事

2 審査方法

（1）一般部門 1日目同様

（2）スタート部門

1事業ごとに申請書類の内容を踏まえ、審査を実施。審査委員は、審査項目をもとに事業の適否を判断する。審査委員が申請書を提出した団体に所属する場合は、審査から外れるものとする。

3 審査結果

- ・一般部門 7事業中3事業
 - 採択事業 3事業
 - 不採択事業 0事業
- ・スタート部門 2事業中2事業
 - 採択事業 2事業
 - 不採択事業 0事業

《審査内容》

一般部門

事業番号	2
事業名	こどものまちミニひろさき vol. 8
団体名	こどものまちミニひろさき実行委員会

【主な意見】

- ・自分たちの想いや計画を話すことのできる子どもたちがどんどん増えていることを嬉しく思うし、子どもの権利条約の理念に則り、意見表明権や主体性を重んじる事業の展開になっていて共感できる。今後ますます頑張っていたきたい。
- ・イベントに参加した小学生たちが、こどもスタッフや運営側として関わっていて良い循環ができています。完全に自分たちで企画・立案するようになるのが楽しみである。
- ・事業を通して主体性や創造性を育みたいという大きなゴールがあると思うので、会議の中でその年の改善点を話し合い、企画を年々ブラッシュアップしていただきたい。

【審査結果】

合計点 84.6点 \geq 60.0点 , 各審査項目の平均点 \geq 3点 \Rightarrow 採択 (申請額どおり)

※審査委員 13名で審査採点

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	8.0
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	9.1
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	8.3
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	8.3
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	8.3
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	8.3
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性(継続事業については発展性)が期待できる	8.8
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	8.9
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	8.0
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	8.6
合計		84.6

《審査内容》

一般部門

事業番号	7
事業名	第2回つがる大判かるた大会
団体名	弘前商工会議所青年部

【主な意見】

- ・ポスターやチラシだけで魅力や楽しさを伝えるというのは難しいと思う。かるたで遊んでいる様子を動画で伝えるなど、実際にどのような遊びなのかがわかるような工夫や仕掛けがあると、参加にも繋がると思うので、PRの方法を検討していただきたい。
- ・学校に対して働きかける際には、単に遊び目的だけではなく、郷土愛を育てる、地元に対する知識を得るための、教育的な要素があることを伝えるといいと思う。
- ・親子で参加させてはどうか。子どもにとっては「親と競う」ということがすごく良い思い出になったりするので、工夫して集客していただきたい。

【審査結果】

合計点 82.2点 ≥60.0点，各審査項目の平均点 ≥3点 ⇒採択（申請額どおり）

※審査委員 12名で審査採点

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	8.0
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	8.5
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	8.0
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	7.7
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	8.5
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	8.3
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性(継続事業については発展性)が期待できる	8.3
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	8.2
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	8.3
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	8.3
合計		82.2

《審査内容》

一般部門

事業番号	6
事業名	大人が恋する多世代合コン
団体名	NPO法人しののベース

【主な意見】

- ・ 出会いを求めている方にとっては、「合コン」という言葉はストレートで伝わりやすいが、子育て世代や、サポーターになっていただきたいシルバー世代の方に対しては、事業の趣旨が伝わらない可能性があるため、チラシのデザイン等は工夫が必要だと思う。
- ・ 集客が課題になりそうなので、アイディアを出し合って是非たくさんの人を集めていただきたい。
- ・ 合コンに多世代を入れ込むというのは、新しい発想。可能性をどんどん見出して、効果的であれば、広げて行っていただきたい。

【審査結果】

合計点 72.0点 \geq 60.0点 , 各審査項目の平均点 \geq 3点 \Rightarrow 採択 (申請額どおり)

※審査委員 13名で審査採点

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	7.2
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている	7.4
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している	7.8
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている	7.4
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である	6.8
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	7.4
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性(継続事業については発展性)が期待できる	7.2
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	7.4
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている	6.9
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる	6.5
合計		72.0

《審査内容》

スタート部門

事業番号	①
事業名	こどもの居場所 あさひ寺子屋
団体名	こどもの居場所 あさひ寺子屋

【主な意見】

- ・地域の子どもたちのために、地域の方が運営するという点でとても良い企画だと思う。今後、団体が活動を継続していくにあたり、子どもたちが気軽に来られる場、宿題をやって遊ぶ場という基本的な部分を大切にしながら、イベントなど多くの経費がかかるものについては、何回かに1回にしたり、参加費を徴収するなど工夫するとういと思う。
- ・これがモデル事業となって、他の地域にも波及することを期待したい。
- ・事故が起きてせっかくの活動が駄目にならないよう十分気をつけていただきたい。

【審査結果】

適 ⇒採択（申請額どおり）

※審査委員 13名で審査

《審査内容》

スタート部門

事業番号	②
事業名	映画「こどもかいぎ」自主上映会
団体名	チャイルドラインひろさき

【主な意見】

- ・子どもたちの声を聞くことが大事になってくるため、たくさんの方の理解が進むような事業になればいいと思う。
- ・映画の上映会をやって終わりではなく、自分たちの活動を絡めてPRしたり、受け手の育成講座の申込方法等が掲載されたチラシと一緒に配布するなどして今後どう繋げていくか考えていくことが大切だと思う。
- ・教育関係に従事している方や、問題意識を持っている方も来るのであれば、お互いに困っていることや、考えていることを発言する時間があっても良いのではないか。
- ・チラシの配布の仕方によって集客が違ってくると思うので、小・中学校やヒロロなど、市民に行き渡るような配布をお願いしたい。

【審査結果】

適 ⇒採択（申請額どおり）

※審査委員 13名で審査